

アイムピア 僕の歩み～発達障害とともに～
僕はここにいる 



監督 神谷操一



■キャスト

杉浦太陽 こだま愛 九十九一

八木小織 増田未亜

■出演協力

大阪府民の皆さん

企画・製作／大阪府教育委員会 製作協力／(財)大阪府人権協会 制作／株式会社学習研究社

この作品についてのお問い合わせは下記へ



大阪府教育委員会 地域教育振興課

〒540-8571 大阪市中央区大手前2 電話06-6941-0351 内線(3465)

ホームページアドレス <http://www.pref.osaka.jp/kyoicityoson/chiiikyoikushinko/index.html>

※このチラシは5,000部作成し、一部あたりの単価は10円です。

平成18年度人権教育啓発映画「アム ヒア 僕はここにいる」利用のてびき

製作のねらい 知的には遅れはないものの、発達がアンバランスなために学校や社会の中で生きにくさを感じ、苦しんでいる“発達障害”の人たちのことを理解するとともに、どんな支援が必要であるかをまなび、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現について考えるきっかけとする。

留意点 広汎性発達障害のあらわれ方は、人によってさまざま特徴についても多様である。

話し合いのポイント

- 「やっぱり僕は、他の人と違うんだろうか」と言った優希の気持ちについて考えよう。
- 「個性的な人って、魅力があるでしょ。優希にもそんな人間になってもらいたいと思ってるんよ」と言った仁美の気持ちについて考えよう。
- 「発達障害は、理解と支援を必要とする個性としてとらえていただきたい」という講師のことばについて考えよう。

あらすじ

バイク好きの優希は父親の寛治と母親の仁美の3人暮らし。子どもの頃から忘れっぽくて、あわて者の優希に仁美はいつもハラハラさせられる。

社会人になった優希は初日から遅刻する。配属された検査課でも検品の際に大きな傷を見逃したり、頼まれたことを忘れていたりすることがたび重なり、次第に職場で孤立していく。総務部の白鳥だけは優希をかばってくれるが、顧客情報が入った重要なデータをゴミとして捨ててしまい、総務部長に「役立たず!」と罵られてしまう。

小学校時代も優希はクラスの中で孤立していた。授業中に落ち着きがないうえに忘れ物も多く、掃除をさぼることもしばしばあり、仁美は担任の香山に何度も呼びだされる。級友からいじめにあった優希は、学校が嫌いになっていた。

香山は、教員研修で『発達障害』についてまなび、優希のことを思いだして悩む。「この障害を、理解と支援を必要とする個性としてとらえ、いろいろな人がともに生きられる方法を考えることが私たちの役割」という講師の話聞き、香山は竹内家を訪ねる。『発達障害』について説明し、優希に「自分がどんな特性や困難を持っているのか知っておくことが大切」だと伝える。

優希は自分のことをもつと知るため病院に行く決心をする。診断の結果は、“広汎性発達障害”。しかし、会社には言わず、職場での状況はさらに悪化していく。結局、辞表を出すことになった優希はやる気も自信もなくなってしまう。

仁美の勧めで障害者就業・生活支援センターを訪れた優希は、作業所で障害があってもいきいきと働く個性的で魅力的な人たちと出会い、「他の人と違っていてもいいんだ」と実感する。

自信を取り戻した優希は、自分の特性に適した職業につくためのアドバイスを受け、第一希望のバイクの修理販売会社に採用が決定する。新しい職場では、優希を迎えるためにさまざまな対応を工夫し、一緒に働く仲間たちもあたたかく優希を支えてくれた。職場にすっかりとけこんだ優希はツーリングのイベント企画を担当することになる。

そして、イベント当日。優希の後ろ姿を見送りながら、寛治と仁美は優希の世界ができてきていることを知る。

参考

決める

◎自分で決める自分の生活◎

エピソードの概略

手足が自由に動かず、言語障害もある美和さんは車椅子を常用しています。以前は施設に住んでいましたが、3年前からアパートを借りて一人暮らしをしています。ある日、新聞購読の勧誘に対して、介助者の藤岡さんは、即座に「うちは結構です」と断りました。

美和さんは、ちょっと困った顔をして「いらないと思っても、断るかどうかは私が決めるから、ひとこと私に聞いてほしい」と言いました。その言葉を聞いた藤岡さんは、意外そうな表情です。

対話のために

このエピソードで、どんなところが気になりましたか？

意外だった藤岡さん、複雑な表情の美和さん。それぞれどんな気持ちだったのでしょうか？

大阪府教育委員会 人権学習教材「動詞からひろがる人権学習」(平成17年3月)より

※この教材の詳細は、大阪府教育委員会 地域教育振興課のホームページにてご覧いただけます。

<http://www.pref.osaka.jp/kyoisityoson/chiikikyokushinko/>